

或る 賞鑑家の眼

大久保裕司の蒐集品

2024年 7月13日(土) — 9月23日(月)

休館日 月曜日(7月15日、8月12日、9月16日、23日は開館)

開館時間 午前9時30分—午後5時

会場 第1・第2民芸館

観覧料 一般 500円 高大生 300円

中学生以下と豊田市在住の70歳以上、障がい者は無料(要証明)※

※その他の減免については豊田市民芸館HPをご覧ください。

主催 豊田市民芸館

共催 中日新聞社



豊田市民芸館

或る賞鑑家の眼

— 大久保裕司の蒐集品 —

古美術・骨董を通じて、青山二郎氏、秦秀雄氏、白洲正子氏等の先達と実際に相見えた数少ない賞鑑家、故・大久保裕司氏。その蒐集品は、日本の古代から近代までの陶磁器、ガラス、木工、金工、民間仏や小道具、朝鮮時代の諸工芸品から西洋アンティークまで幅広い内容で形成されています。この具眼の士が心のままに求め、その元を集まった骨董の品々には、見過ごすことのできない美しさと魅力が宿っています。

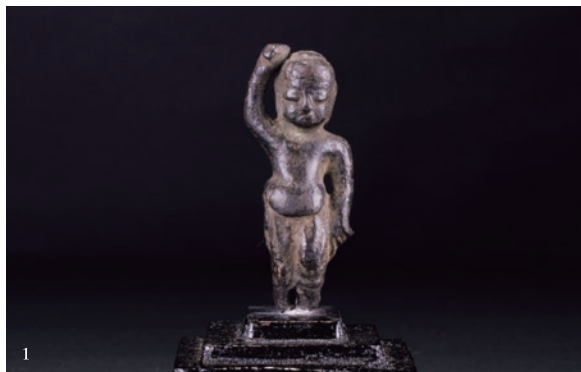
大久保氏は壺なら壺、猪口なら猪口というように、順を追ってものを集め、それを並べたり、研究したりする蒐集家ではありませんでした。歴史や思想には基本的に全く興味がなく、ものを理解するのに必要なのは感性であり、知識などは百害あって一利なしと常々言っていたといえます。

ここに展示されるものたちは、大久保氏の眼前に頭れ立ち、彼の心奥を強く揺らせたものたちです。大久保裕司氏という一人の賞鑑家が、洋の東西を問わず、飛鳥時代から近代に至るまで、自らの感性の赴くままに求めた蒐集品の数々をぜひご覧ください。



大久保 裕司 おおくぼ ゆうじ

東京都出身。10代で美しいものに心惹かれ始め、三橋國民(造形美術家)が所蔵していた飛鳥時代の金銅仏に感動して古美術の世界に足を踏み入れる。その後、古美術・骨董を通じて青山二郎、秦秀雄、藤田青花、安東次男、青柳瑞穂、池田三四郎、白洲正子、料治熊太等(順不同・敬称略)の先達と相見えた数少ない賞鑑家。

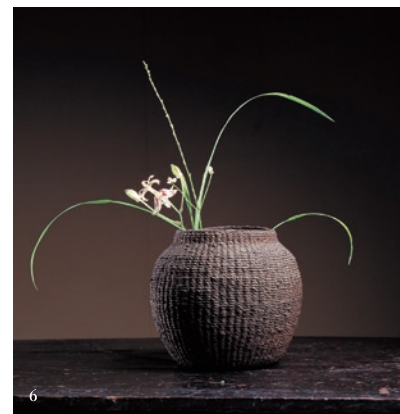


関連プログラム

ギャラリートーク

大久保裕司氏の書生として様々な経験を積み、現在も美術に関わり続けている椎名直行氏が大久保氏とその蒐集品について語ります。

- 講師: 椎名 直行氏 / 美術協会純展理事
- 日時: 2024年8月11日(日・祝) 午後2時~3時
- 集合: 第1民芸館
- 参加費: 無料(ただし当日の観覧券が必要です)
- 定員: 30名



交通のご案内

- [電車]
名鉄三河線平戸橋駅より徒歩15分
- [車]
東海環状自動車道
豊田勘八インターより車で10分

豊田市民芸館

〒470-0331
愛知県豊田市平戸橋町波岩86-100
TEL 0565-45-4039
<https://www.mingeikan.toyota.aichi.jp>

周辺施設のご案内

豊田市本多記念民芸の森
「ゆきて たずねる こえ 植村宏木展」
7月16日(火)~9月28日(土)

豊田市美術館
「エッシャー 不思議のヒミツ」展
7月13日(土)~9月23日(月)

豊田市博物館
「予告」旅するジョウモンさん展
10月12日(土)~12月8日(日)



1. 誕生仏 奈良時代 / 2. 朱塗りの蓋もの(碁石入) / 3. 古伊万里の駒(兎) / 4. 丸紋の皿 初期伊万里 / 5. 袖印 / 6. 紙綴 / 壺 朝鮮時代
[表写真・左上から時計回りに] 小石像 / 民窯徳利 / 蚊遣り豚 江戸時代後期 / 茶罐(小) / 茶罐(大) / 鉄絵の茶碗 朝鮮時代 / 猫足の小盆 朝鮮時代 / 硝子宝珠
※掲載資料の名称、時代、産地、材質は大久保裕司氏の意見を元に記載